

■ **本と親しみ、自分と出会い、社会を知り、新たな世界を拓け!** ■  
**関大 大学長と大手書店コラボによるお薦め図書 100 選**  
**「新入生に贈る 100 冊」第2弾を公表**  
 ～ 大学×保護者一体型の読書啓発活動。図書の大半は電子ブックで ～

このたび関西大学では、昨年からの読書啓発の一環として実施している、大手書店「丸善雄松堂」ならびに「紀伊國屋書店」とのコラボ企画「新入生に贈る 100 冊」の第 2 弾を選定しました。2019 年 4 月の新入生約 6,700 人にパンフレットを配付し、入学式で芝井敬司学長が読書の重要性を学生に直接呼びかけます。

**本件の  
ポイント**

- ・「関大 大学長 × 丸善雄松堂 × 紀伊國屋書店」による若い世代に向けた本格的な読書啓発企画
- ・2019 年度入学式で全新生に配付し、学長直々に同企画への想いと本の重要性を伝え届ける
- ・保護者で構成される教育後援会が全額負担で図書を購入! 全図書約 9 割は電子ブックで読める

■ **大学生の約半数が一日の読書時間ゼロ!?**

2018 年 10～11 月に実施された全国大学生生活協同組合連合会の調査によると、大学生の実に 48%が一日の読書時間ゼロと回答しています(回答学生約 1 万人)。初めて 5 割を超えた前年の結果からは多少の回復がみられたものの、若者の読書離れがまだまだ深刻であるのが現状です。

■ **100 冊の本を選んだきっかけと想い** (芝井学長談)

若者の読書離れに歯止めをかけたい。高校卒業までに読書習慣が身に付いていないのが目立つようですが、このままだと社会に出てからは困るのは目に見えています。せめて大学入学後は少しでも本に親しんでほしいと、大手書店と協力して様々なジャンルから選びました。

■ **「大学×保護者×書店」による読書啓発の試み。図書は親たちがプレゼントとして購入!**

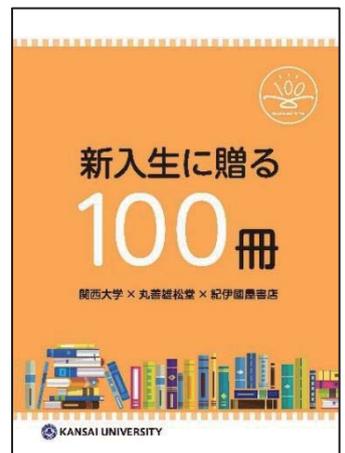
100 冊の図書は、保護者からなる教育後援会が購入し、4 キャンパスの図書館に設置します。うち 87 冊は電子ブックとして、いつでもどこでも読むことが可能です。また、大手書店協力のもと「オーダーメイド選書」を行い、本のプロが学生一人ひとりにピッタリの図書を届けるサポートも展開するなど、三者協働で読書啓発に取り組みます。

■ **『新入生に贈る 100 冊』の概要**

- 大手書店「丸善雄松堂」「紀伊國屋書店」と芝井敬司学長がコラボ
- 100 冊の内訳は、[芝井学長推薦本] 20 冊、[大手書店推薦本] 各 40 冊
- 大学・書店協同による若い世代に向けた本格的な読書啓発の取組みは全国的にも例がなく、本取組みは今年で 2 年目を迎える
- 新入生に馴染んでもらえるよう、教職員がわかりやすく書評を作成

【推薦図書の一例】 ※配付冊子の全容はウェブにて公開▼

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/pressrelease/2018/No102.pdf>



『ジャッカルの日』/フレデリック・フォーサイス(角川文庫)

謎の暗殺者が仏大統領に迫る「ゴルゴ」超えの名作。99%の読者は次に「オデッサ」へ。



『ソロモンの指輪—動物行動学入門—』/コンラート・ローレンツ(早川書房)

動物のビックリするような不思議行動からペットの飼い方まで、ノーベル賞学者がわかりやすく説明。

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが別紙FAX返信用紙にて事前にお知らせ願います。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:寺崎、浦田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel:06-6368-0201 Fax:06-6368-1266

[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)



関西大学

[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)

# 新入生に贈る 100冊

関西大学学長 × 丸善雄松堂 × 紀伊國屋書店



2019年4月1日発行



KANSAI UNIVERSITY

## 学長からのメッセージ

あなたが自らの人生を大切に生きていくために、今年も100冊の本を選びました。昨年と違って、関西大学教育後援会のご支援で、100冊の大半を電子ブックで提供します。後援会の会員である皆さんのお父さん、お母さんや保護者の皆さんからのプレゼントを、ネットを使って「いつでもどこでも読める」わけです。日本の大学では本学だけの試みです。どうかあなたの人生に役立ちますように。



2019年4月1日  
関西大学学長 芝井敬司

## 事務局より

今年も関西大学学長と大手書店の丸善雄松堂株式会社様、株式会社紀伊國屋書店様が協力して、「お薦めの100冊」パンフを作り、大学のホームページにも載せました。リストで「QRコード」の表示がある場合は、すべて電子ブックなので、スマホやタブレットなどで読めます。それ以外は、各キャンパスの図書館で読むことが可能です。もちろん上級生にもお薦めです。本の説明は、教員と職員が手分けして、新入生のみなさんに読んでもらいやすいよう限られた字数に思いをまとめました。

## INDEX

- 電子ブックの読み方 ..... P1
- 学長推薦図書 20 冊 ..... P2 - P3
- 丸善雄松堂推薦図書 40 冊 ..... P4 - P7
- 紀伊國屋書店推薦図書 40 冊 ..... P7 - P10
- 学生書評 ..... P11 - P13

スマホや  
タブレットからでも  
読める!!

# 電子ブックの読み方

本冊子の電子ブックは、**2019年4月1日から1年間**の提供になります。  
(一部の作品は、期間後も閲覧可能です。)

## 1 本冊子QRコードからアクセス!



本冊子の推薦本紹介ページに記載されているQRコードから直接アクセスできます。

★マークは  
関大限定電子ブックです。

QRコードを読み込むと、  
作品の閲覧ページに移ります。

OR

## 2 図書館ウェブサイト 特設ページからアクセス!

特設ページは、スマホにも対応! 電子版ならではのオリジナルコンテンツの提供や本に関する企画も実施するので要チェック!



こちらからアクセス▶



〈電子ブック特設ページ〉



読みたい本の表紙をクリック!  
作品の閲覧ページに移ります。

ここをクリックすると  
本の一覧が表示されます!

## 電子ブックでお気に入り作品をお楽しみください!

「Maruzen ebook Library」「KinoDen」「LibrariE」いずれかのサイトが表示されます。学外ネットワークからアクセスする場合は、「学認」ボタンを選択し、大学の統合認証システムのID・パスワードを入力してご利用ください。

### 関連企画

#### 関大生へ本のおあつらえ オーダーメイド選書

どの本を読もうか迷ってしまう新入生の皆さんに朗報!  
書店員をはじめとする本のプロフェッショナルがあなたにお勧めの1冊を選定します。

詳しくは特設ページにてチェック▶ [http://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?page\\_id=41052](http://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?page_id=41052)

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

# 学長推薦図書 20冊



## 精神指導の規則 ★ 01

著者 デカルト

出版社 岩波書店

すごいタイトルの割に、わずか165頁で超有名哲学者の考えをゲットできる優れもの。

★  
WEBサイト  
から  
アクセス!



## タテ社会の人間関係 単一社会の理論 【音声読上】 02

著者 中根 千枝

出版社 講談社

学生時代に読んでおけば良かった、と新社会人が悔やむ1冊。人間関係のツボ教えます。

QRコード



## ジャッカルの日 03

著者 フレデリック・フォーサイス

出版社 角川文庫

謎の暗殺者が仏大統領に迫る「ゴルゴ」超えの名作。99%の読者は次に「オデッサ」へ。



## 黒い雨 04

著者 井伏 鱒二

出版社 新潮社

広島の実爆投下がある家族にもたらした悲惨と波紋。素直に感動します。



## 砂の女 05

著者 安部 公房

出版社 新潮社

砂丘の穴に落ちた昆虫採集男とひきとめる女。2人を眺める村人。20数ヶ国語に翻訳。



## 落日燃ゆ 06

著者 城山 三郎

出版社 新潮社

日本を戦争に追い込んだ軍人と、阻もうとした元総理。昭和史の過酷を切り取った名作。



## 沈黙 07

著者 遠藤 周作

出版社 新潮社

神様でも沈黙するの？島原の乱後、拷問から背教の淵に立たされたキリシタンを描く。



## ビタミンF 08

著者 重松 清

出版社 新潮社

Fで始まるキーワードで紡ぐ7つの短編集は、心のビタミン。微量でも健康には不可欠。



## 風にそよぐ葦 ★ 09

著者 石川 達三

出版社 岩波書店

社会小説の名手が、戦争前後の言論弾圧を、出版社社長・葦沢悠平一家を通じて描く。

★  
WEBサイト  
から  
アクセス!



## ドン・キホーテの末裔 ★ 10

著者 清水 義範

出版社 岩波書店

よせばいいのに老文学者がドン・キホーテを超えようとして書き始めたパロディ。首尾は？

★  
WEBサイト  
から  
アクセス!



## イスラームとは何か —その宗教・社会・文化— 11

著者 小杉 泰

出版社 講談社

イスラーム世界の見晴らしがよくなる入門書。タイトルほど肩の張らない読みやすさ。



## 日本語と外国語 ★ 12

著者 鈴木 孝夫

出版社 岩波書店

六色の虹、黄色い太陽、恥部としての足など、興味深い例でユニークに分析した言語論。

★  
WEBサイト  
から  
アクセス!



## 華岡青洲の妻 13

著者 有吉 佐和子

出版社 新潮社

世界初の全身麻酔による乳癌手術に成功した稀代の外科医華岡青洲と2人の女を描く。



## 水底の歌(上)<下> 14

著者 梅原 猛

出版社 新潮社

古代日本第一の歌人をあらゆる視点から分析し万葉集の魅力を更新した力作。



## 事実の読み方 15

著者 柳田 邦男

出版社 新潮社

NHK出身で非凡なノンフィクションライターが示す先入観の危険とデータの読み方。



## ドンダリの謎 ★ 16

著者 盛口 満

出版社 筑摩書房

ボルネオの世界最大のドンダリにまつわるあらゆる疑問に楽しいイラスト付きで答えます。

★  
QRコード



## 生物はウイルスが進化させた —巨大ウイルスが語る新たな生命像— 17

著者 武村 政春

出版社 講談社

日本初の巨大ウイルス=トキョウウイルスの発見者が語る、生物進化のからくり。

QRコード



## ソロモンの指環 18

著者 コンラート・ローレンツ

出版社 早川書房

ノーベル賞受賞の動物行動学者が、動物や鳥、魚たちの生態をユーモラスに描いた名著。



## 水族館の文化史 20

著者 溝井 裕一

出版社 勉誠出版

サントリー学芸賞を受賞した関西大学文学部教授の著書。古今東西の水族館文化をつづる。

★  
QRコード



# 丸善雄松堂 推薦図書 40冊

## 選書への思い

読書の時間を持たない方が増えてきたと言われています。特に若い間は様々な経験がその後の人生に役に立ちます。自分の知らない事柄に出会い、新たな発見をしてみよう。幅広く選書しました。時間がない中でもたくさん読書ができるように電子ブックを中心に提供しています。関心を持った分野は電子ブックだけでなく紙の本で自ら探求するのも良いと思います。そのきっかけになれば、嬉しいです。



**01**

東日本大震災陸上自衛官としての138日間の記録  
【音声読上】

著者 西郷 欣哉

出版社 インプレスR&D/インプレスビジネスメディア

大震災で自衛官として138日間活動した私、民間企業の社員、ボランティア達の記録。



**02**

コミュニケーションデザイン

著者 西條 美紀

出版社 くらしお出版

ハラスメントなどの社会的課題解決のための協働作業とコミュニケーションの設計とは？



**03**

リサーチ入門  
—知的な論文・レポートのための—

著者 竹田 茂生/藤木 清

出版社 くらしお出版

レポート作成に必要な社会調査やマーケティングリサーチなどの解説書。



**04**

個性は遺伝子で決まるのか  
—行動遺伝学からわかってきたこと—【音声読上】

著者 小出 剛

出版社 ベレ出版

親から受け継いだ私の性格は直せるのか、個性と遺伝の悩ましい関係について解き明かす。



**05**

地図はどのようにして作られるのか  
—まるごとわかる地図の教科書—【音声読上】

著者 山岡 光治

出版社 ベレ出版

スマホのアクセスアプリでお世話になる地図。その作り方など、すべてがわかる地図百科。



**06**

羞恥

著者 チョン・スチャン

出版社 みすず書房

オリンピックの選手村予定地で土土した大量の人身。狂い始める脱北者3人の運命は？



**07**

ネーミングの言語学  
—ハリー・ポッターからドラゴンボールまで—【音声読上】

著者 窪蘭 晴夫

出版社 開拓社

ハリポタからミッキー・マウスまでネーミングなどを通して日本語と英語のリズムなどを解説。



**08**

火星からの侵略  
—パニックの心理学的研究—【音声読上】

著者 ハドリー・キャントリル

出版社 金剛出版

80年前、全米百万人以上を震え上がらせたラジオドラマの教訓は？恐怖の心理学。



**09**

自己カウンセリングとアサーションのすすめ  
【音声読上】

著者 平木 典子

出版社 金子書房

他人以上に自分のコントロールは至難。なんとかならんか、と悩むあなた向けの好著。



**10**

大学生のための交渉術入門

著者 野沢 聡子

出版社 慶應義塾大学出版会

ゼミやバイト先、サークルでのなんでもない対立に悩む学生はこっそりこれを読みます。



**11**

理系のための論理的文章術  
—実例で学ぶ読解・作成の手順—【音声読上】

著者 成清 弘和

出版社 講談社

理系だけでなく論理的に考えて文章を考えるポイントを豊富な事例で解き明かします。



**12**

自分を見つける心理分析  
—セルフ・カウンセリング入門—【音声読上】

著者 渡辺 康彦

出版社 講談社

暮らしの断面を書いていけば自分の心が見えてくるといふ実例を読むと、その気になります。



**13**

すべては人なんだ  
【音声読上】

著者 大久保 恒夫

出版社 商業界

ユニクロ、無印良品などの経営に参画した著者の成功の秘訣をちりととのぞきます。



**14**

大学生学びのハンドブック  
—勉強法がよくわかる!—4訂版

著者 世界思想社編集部

出版社 世界思想社教学社

論文をどう書くか、パソコンを使いこなせない、と悩むあなたにイラストつきで説明します。



**15**

僕がロボットをつくる理由  
—未来の生き方を日常からデザインする—【音声読上】

著者 石黒 浩

出版社 世界思想社教学社

ロボットの世界的権威が日常の生活から仕事まで、新世界を目指し縦横無人に話します。



**16**

ザ・パーフェクト  
—日本初 恐竜全身骨格発掘記—【音声読上】

著者 土屋 健

出版社 誠文堂新光社

全身骨格の化石が見つかった日本恐竜研究史上最高の発見。そのとんでもない発掘記。



**17**

論語コンプリート  
—全文完全対照版・本質を捉える「一文超訳」+現代語訳・書き下し文・原文—【音声読上】

著者 孔子

出版社 誠文堂新光社

専門バカになるな、などわかりやすい文章なので東洋の古典がすらすら読めます。



**18**

生きている働いている  
—障がいの者が就労を地域で支える—【音声読上】

著者 目黒 輝美

出版社 大学教育出版

各地の様々な事例から障がいのある人々の生き方を通して働くことの意味を探ります。



**19**

犬房女子  
—犬猫殺処分施設で働くということ—【音声読上】

著者 藤崎 竜士

出版社 大月書店

動物管理センターのガス室で続く殺処分。犬猫たちを救おうと奮闘する人たちを描く。



**20**

刑務所しか居場所がない人たち  
—学校では教えてくれない、障害と犯罪の話—【音声読上】

著者 山本 譲司

出版社 大月書店

筆者自身の服役経験から福祉と司法のすきまに落ちる人々の実態を描く。



**21**

「表現の自由」の明日へ  
—一人ひとりのために、共存社会のために—【音声読上】

著者 志田 陽子

出版社 大月書店

表現の自由とは何か。ヘイトスピーチや公文書改ざんなどで揺らぐ民主主義のあり方。



**22**

世界はなぜ争うのか  
—国家・宗教・民族と倫理をめぐって—

著者 福田 康夫

出版社 朝倉書店

続発する国際紛争やテロを防止し解決する方法はあるのか。各国の元首脳からの観望は？

**23**

恋愛を数学する  
【TEDブックス】

著者 ハンナ・フライ

出版社 朝日出版社

もてるコツなどを数学的に説明。恋愛と数学が同時に楽しめる世界唯一の本。

**24**

スタンフォードの  
「英語ができる自分」になる教室  
一対一

著者 ケリー・マクコニガル

出版社 朝日出版社

スタンフォード大学講師が、英語力向上につながる意識の持ち方や手法をわかりやすく解説。

**35**

災害に学ぶ  
一文化資源の保全と再生

著者 木部 暢子

出版社 勉誠出版

様々な分野から知恵を出して、人と人のつながり、地域文化と遺産を災害からどう守るか。

**36**

宝塚戦略  
小林一三の生活文化論  
【読みなおす日本史】

著者 津金沢 聡広

出版社 吉川弘文館

鉄道からデパート、宝塚少女歌劇など柔らかな頭で時代を先取りした阪急グループ創業者の戦略とは？

**25**

THE LAST GIRL  
一イスラム国に囚われ、闘い続ける  
女性の物語【音声読上】

著者 ナディア・ムラド

出版社 東洋館出版社

ノーベル平和賞を受賞したナディア・ムラドが戦争の実態を語る。

**26**

スタンフォード教授の  
心が軽くなる先延ばし思考

著者 ジョン・ペリー

出版社 東洋経済新報社

珍しく「先延ばしはいいことなんだ」と実感できる本。エライ先生が役立つ発想などを紹介。

**37**

私がオーロラを世界に  
シェアできたわけ  
【音声読上】

著者 古賀 祐三

出版社 誠文堂新光社

一人の若者がオーロラ中継プロジェクト「Live! オーロラ」を実現するまでの14年間を描く。

**38**

脱「原発・温暖化」の  
経済学

著者 明日香 壽川

出版社 中央経済ホールディングス

脱原発、脱温暖化と経済成長は両立できるのか。様々なデータと議論からやさしく解説。

**27**

社会インフラ次なる転換  
一市場と雇用を創る、新たな再設計とは【音声読上】

著者 野村総合研究所

出版社 東洋経済新報社

老朽化した道路や上下水道をどうするのか、気の遠くなるような課題に挑戦する再設計論。

**28**

経済を読む  
一ケネーからピケティまで

著者 根井 雅弘

出版社 日本経済評論社

経済学の古典から最新の理論まで、歴史や音楽などをからめたエッセイ集。

**39**

その話は今日はやめて  
おきましょう

著者 井上 荒野

出版社 毎日新聞出版

WEBサイトからアクセス!

定年後の夫婦の穏やかな暮らしが一人の青年の登場で揺らぎ始めた。昨年度の織田作之助賞受賞作。

**40**

炎上する君

著者 西 加奈子

出版社 角川書店

「足が炎上する男」や「私のお尻」などユニークな発想の短編集。著者は関西大学卒の直木賞受賞作家。

**29**

歴史学の醍醐味

著者 西川 正雄

出版社 日本経済評論社

フランス革命から20世紀のホロコーストなど、歴史の読み方やその面白さを紹介。

**30**

美女と野獣 一オリジナル版  
【音声読上】

著者 ガブリエル=シュザンヌ・ド・ヴィルヌーヴ

出版社 白水社

ディズニー映画で有名なおとぎ話。商人と美しい娘と野獣が織り成す愛憎劇。さし絵付き。

紀伊國屋書店 推薦図書

**40冊**

選書への思い

これまで読む本はどのようにして選んできましたか？ベストセラー、薦められて、タイトルに惹かれて、などいろいろあったと思います。今回、紀伊國屋書店が紹介する本は全て電子化されてスマホで読むことができます。気になった本があったら気軽にタップしてください。中には読みやすい本も難しそうな本もありますが、あなたを支えてくれる本が見つかるかもしれません。その出会いにつながって欲しい、このような期待をこめて40冊を選んでみました。

**31**

幸福論  
【音声読上】

著者 アラン

出版社 白水社

「不幸だけでなく、幸福も自分がつくるもの」。パリの名門校などで教えた著名な哲学者の明快な教え。

**32**

初版グリム童話集1  
【音声読上】

著者 グリム

出版社 白水社

赤ずきん、白雪姫など世界最多の言語に翻訳されたドイツの昔話集。装丁もシンプルでお洒落です。

**01**

100の思考実験  
一あなたはどこまで考えられるか

著者 ジュリアン・パジーニ

出版社 紀伊國屋書店

「ハーバード白熱教室」のように簡単に答えの出ない難問集。脳がばらばらになるほど考えたい貴方へ。

**02**

アウシュヴィッツの  
歯科医

著者 ベンジャミン・ジェイコブス

出版社 紀伊國屋書店

強制収容所に放り込まれた21歳の青年の過酷な運命を、母が持ってきた歯科治療の道具箱が救った。

**33**

一神教とは何か  
ユダヤ教、イスラムを知るために  
【音声読上】

著者 小原 克博

出版社 平凡社

唯一神を信じるキリスト教、イスラム教などについて日本人向けの最新の解説書。世界は広い。

**34**

落語に学ぶ大人の極意  
【音声読上】

著者 稲田 和浩

出版社 平凡社

落語を素材に恋のさや当てから同僚との喧嘩まで、生きるコツがわかります。大人ってすごいぜ。

**03**

ゲッベルスと私  
一ナチ宣伝相秘書の独白

著者 ブルンヒルデ・ポムゼル/トール・D. ハンゼン

出版社 紀伊國屋書店

ヒトラーの右腕、ヨーゼフ・ゲッベルスの103歳の元秘書が、69年の沈黙を破り何を告白したのか。

**04**

ぼくはお金を使わずに  
生きることにした

著者 マーク・ポイル

出版社 紀伊國屋書店

それが出来たら苦勞せんよ、と思う君へ。1年間お金を使わずに暮らした英国青年の実験と幸福論。



**不寛容な時代のポピュリズム**

著者 森 達也

出版社 青土社

フェイク横行情の現代。様々な分野のテーマに裏から斬りこんだドキュメンタリー。



**モデル100**

著者 かしま えりこ/神田橋 條治

出版社 創元社

学校現場の100の事例をスクールカウンセラーと精神科医が分析し、解決の糸口を探った力作。



**昭和史 1926-1945**

著者 半藤 一利

出版社 平凡社

授業形式の語り下ろしで毎日出版文化賞特別賞を受賞したシリーズ。過ちを繰り返さない日本へ。



**過ぎし世の面影**

著者 渡辺 京二

出版社 平凡社

幕末から明治に日本を訪れた異邦人の記録を通じて、日本近代が失ったものを見直す。



**われらの子ども**

著者 ロバート・D. バットナム

出版社 創元社

子どもたちにはもう平等なチャンスはない、と筆者はアメリカン・ドリームを懐疑する。日本は？



**職場学習論**

著者 中原 淳

出版社 東京大学出版会

人生の半分くらいを過ごす職場で、学ぶことの差は大きい。君が今から準備しても早すぎはしません。



**日本奥地紀行**

著者 イザベラ・バード

出版社 平凡社

明治初期の日本を紹介した英国女性の旅行記の名作。こんな旅をしてみたいあなたに。



**最終講義**

著者 中井 久夫

出版社 みすず書房

30年間分裂病の治療と研究に尽してきた精神科医の最終講義。



**白と黒のとびら**

著者 川添 愛

出版社 東京大学出版会

あなたも主人公の少年と一緒にパズルを解きながら、オートマトンという魔法を手に入れてみませんか？



**the four GAFA**

著者 スコット・ギャロウェイ

出版社 東洋経済新報社

グーグルやアップルなど巨大IT4社は世界の覇者か。著名教授が断言する次の10年とそのルール。



**生きがいについて**

著者 神谷 美恵子

出版社 みすず書房

「生きがいを失った人はどう生きてらよいの?」。人々を慰め力づけた名著。



**悩む力**

著者 斉藤 道雄

出版社 みすず書房

襟裳岬の近くのユニークな企業のモットーは「安心してさぼれる」。



**ストーリーとしての競争戦略**

著者 楠木 建

出版社 東洋経済新報社

成功の持続を可能にしている企業には必ず「ストーリーとしての戦略」がある。豊富な事例で解説。



**ヤバい経済学**

著者 スティーヴン・D・レヴィット/スティーヴン・J・ダブナー

出版社 東洋経済新報社

気鋭の学者が「裏の経済学ブーム」を起こした170万部のベストセラー。犬のウンコから臓器売買など。



**夜のある町で**

著者 荒川 洋治

出版社 みすず書房

あきらめの海でおぼれそうあなたに知恵と勇気をくれるエッセイ集。



**相模原障害者殺傷事件**

著者 立岩 真也/杉田 俊介

出版社 青土社

障がい者殺しは今の日本を何をさし示すのか。見たくない現実と、それへの抵抗を歴史からも学びたい。



**サムライブルーの料理人**

著者 西 芳照

出版社 白水社

七年間にわたってサッカー日本代表の海外遠征シェフを務めた男の「勝つためのレシピ」。



**地図で読む戦争の時代**

著者 今尾 恵介

出版社 白水社

地図に描かれた戦争の痕跡は、人々の悲しみもなぞる。古今東西の地図から領土問題を考える力作。



**スローカーブを、もう一球**

著者 山際 淳司

出版社 KADOKAWA/角川書店

日本中の野球ファンをしびれさせた名作「江夏の21球」など贅沢な作品集。ホンマにしびれるよ。



**ATOMIC ACCIDENTS**

著者 ジェームズ・マハフィー

出版社 医学教育出版社

福島など放射線・原発事故の歴史を政治色なく描こうとつとめた、原子力に関する入門書。

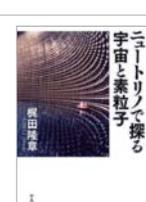


**フランス小説の扉**

著者 野崎 歓

出版社 白水社

多くの文学賞を受けた著者が、フランス文学の最高峰の作品について、読みどころや味わい方を語る。



**ニュートリノで探る宇宙と素粒子**

著者 梶田 隆章

出版社 平凡社

「自然科学の知識がありません」君にも直感的に理解できます。ノーベル賞学者の「宇宙の過去と未来」。



**法とは何か 増補新版**

著者 長谷部 恭男

出版社 河出書房新社

暴力やテロ防止に相互理解や寛容の精神はどう役立つのか。著名な法学者から法の根本を学びます。



**ペンギンが教えてくれた物理のはなし**

著者 渡辺 佑基

出版社 河出書房新社

なんでペンギンが物理を教えてくれるの、というあなた。マグロやアザラシだってすごいよ。



若い読者のための  
第三のチンパンジー  
【音声読上】

29

著者 ジャレド・ダイヤモンド

出版社 草思社

あなたの遺伝子の98.4%はチンパンジーと同じです。では1.6%の違いは何？ひやりとする1冊。



沖で待つ

30

著者 糸山 秋子

出版社 文藝春秋

住宅機器メーカーに勤務の男女の絆を描く表題作ほか全3編。芥川賞受賞。



パーク・ライフ

31

著者 吉田 修一

出版社 文藝春秋

日比谷公園を舞台に地下鉄で知り合った男と女が織り成す意外なストーリー。芥川賞受賞。



妊娠カレンダー

32

著者 小川 洋子

出版社 文藝春秋

姉の妊娠をきっかけに微妙に動き始めた現実を描き芥川賞を受賞した作品ともう一作を取録。



戦争と諜報外交  
— 杉原千畝たちの時代

33

著者 白石 仁章

出版社 KADOKAWA / 角川学芸出版

強制収容所行きだったユダヤ人を救った日本の外交官たちは何と闘ったのか。資料4万冊から分析。



ことばの発達  
の謎を解く

★ 34

著者 今井 むつみ

出版社 筑摩書房

赤ちゃんはどうして言葉を話せるようになるのか。子どもを対象にした実験から分析する不思議の数々。



学校が教えない  
ほんとうの政治の話

★ 35

著者 斎藤 美奈子

出版社 筑摩書房

選挙で誰に投票するのか、は「どっちがホーム、アウェイ？」と似ています。あなたの投票行動の第一歩。



姫君の賦  
— 千姫流

★ 36

著者 玉岡 かおる

出版社 PHP研究所

いわれなき悪名を浴びながらも毅然とした生を貫いた徳川家康の孫娘。



右脳思考  
— ロジカルシンキングの限界を  
超える観・感・勘のススメ

37

著者 内田 和成

出版社 東洋経済新報社

勘でそこまで仕事するか。ちょっとしたひらめきから奇想天外な展開まで。本物の経営者の思考法。



老いの整理学

38

著者 外山 滋比古

出版社 扶桑社

もの忘れや怒りは「新しい養生」。94歳の「知の巨人」が、あなたのご父母のために説く「知的な老い方」。



ふしぎなキリスト教  
【音声読上】

39

著者 橋爪 大三郎/大澤 真幸

出版社 講談社

日本を代表する2人の社会学者がキリスト教に関するすべての疑問に答えます。



私とは何か  
「個人」から「分人」へ  
【音声読上】

40

著者 平野 啓一郎

出版社 講談社

「本当の自分」探して悩むあなたへ。相手ごとに違う自分の顔がすべて「本当の自分」です。安心！



「100冊」はここまで進化しました！ 書評講座や「KANDAI OBI-1グランプリ」も開催

前回の「100冊」企画では、丸善雄松堂さん、編集工学研究所さんらの協力で図書館学習支援講座「書評のススメ！」を開きました。学生が100冊から選んだ「私の1冊」について書評や本の帯をつくる企画です。多くの受講生の中から受賞の栄誉に輝いた3人の書評を紹介します。選書した芝井学長は「ここまで読んでくれたらうれしい」と話しました。（※学年・所属は、受賞時のものです）

【書評のススメ！】

KANDAI OBI-1グランプリ

大賞

社会学部3年

土居 りさ子

選んだ本のタイトル



『バツタを倒しに  
アフリカへ』

著者 前野ウルド浩太郎

出版社 光文社

出版年 2017年

## 夢とバツタを追いかけて

私にとって「夢を語ることは」少し照れくさい。笑われたらどうしよう、もし叶わなかったらかっこ悪い、そんなふうに思ってなかなか口に出すことができないのだ。それに比べて著者は、「虫を愛し、虫に愛される昆虫学者になりたい」という夢を堂々と語る。

本書には、その夢を実現させるためにアフリカへ向かい、バツタの研究に取り組んだ日々が綴られている。「夢を叶えるためにどんな苦労が待ち受けているのか、想像もできなかった」。言葉の壁、文化の違い、容赦のない自然の力…アフリカでの研究は予想以上に厳しいものだったということが、著者の言葉から伝わってくる。しかしそれでも、彼が折れることはない。持ち前のポジティブさと溢れるユーモアで、立ち足はだかる困難を次々と乗り越えていく。

たとえば、英語とフランス語を混ぜた独自の言語を生み出し、言葉が通じない仲間とコミュニケーションを取る。文化の違いはむしろ楽しんで、現地の生活に自然と溶け込んでいく。研究対象のバツタとなかなか遭遇できないという非常事態でさえ、他の生物を夢中になって研究し、自分の糧にする。

「夢の裏側に隠された真実を知ること、また一歩ファールに近づけた気がしていた」夢を追う者たちが必ず直面する、厳しい現実の数々。その「裏側」の部分を無視して、夢を叶えることは絶対にできない。

私は著者のようにまっすぐ「夢の裏側」と向き合っているだろうか。嫌なことから逃げて、苦しいことを避けようとしていないだろうか。著者が憧れるファールも、私が憧れる人々も、いつだってキラキラしている。しかしその人たちもどこかで「夢の裏側」と向き合って、闘ってきたのだ。

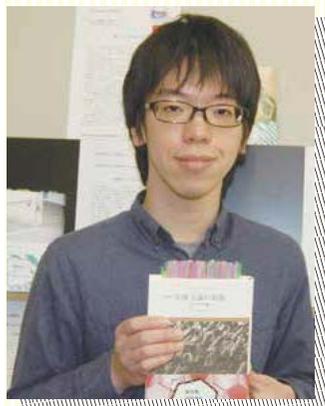
最後に著者はこうも言っている。「叶う、叶わないは置いていて、夢を持つと、喜びや楽しみが増えて、気分よく努力ができる」。

夢を持つことに対して難しく考える必要はない、シンプルな感情でいい。本書はそう教えてくれる。そしてその夢は、語ることから始まるのだ。

「書評のススメ！」

KANDAI OBI-1グランプリ

優秀賞



博士課程前期課程(修士課程) 理工学研究科2年

窪田 将大

選んだ本のタイトル



『全体主義の起原  
反ユダヤ主義』

著者 ハンナ・アーレント

出版社 みすず書房

出版年 2017年

## 不可解な現実に向き合え！

「ユダヤ人を絶滅させなければならない」なぜ、このような残酷な思想が受け入れられ、多くの一般市民が史上最大の悪事に加担したのだろうか。これを理解不能な悪魔の所業として糾弾するのではなく、現実の出来事として理解するべきだ。『全体主義の起原』は、1906年生まれのユダヤ系ドイツ人で、自ら当事者でもある哲学者ハンナ・アーレントがこの難題に挑戦した全3巻の大著である。1巻では、全体主義に収斂する重要な思想の一つである反ユダヤ主義を扱っている。

なぜ、国民国家が形成された20世紀ヨーロッパで反ユダヤ主義が受け入れられたのか。なぜ、ユダヤ人は非国民として扱われたのか。様々な背景から反ユダヤ主義について分析を行っている。その中の一つに、「ユダヤ人は世界征服を企てる秘密結社である」と主張した『シオン賢者の議定書』という偽造文書がある。ナチスはこの文書を引用して、反ユダヤ主義の宣伝をした。この文書が反ユダヤ主義の起原であるというわけではないが、ナチスが「偽造文書でも宣伝の役に立つと考えた」というのは興味深い問題の一つだ。

これを現代に当てはめて考えるとどうなるのだろうか。例えば、テレビなどで評論家が難しい問題を分かりやすく解説していたとする。あなたは評論家の言うことに疑問を持って裏を取るだろうか。あるいは、あなたはなぜこの書評を読んでいるのだろうか。キャッチコピーやカバーが気になって読んでくれた人も多いのではないか。また、こういう場合はどうだろう。シンプルなキャッチコピーを用いて、特定の人物や団体にとって都合の良いフェイクニュースが流布されていたとする。評論家が分かりやすい口調でそのニュースを肯定する解説をしているとする。あなたはそのニュースに疑問を持つことが出来るだろうか。多くの人は出来ないのではないかと。しかし、このような思考停止した人が多数派になった時、危険思想が受け入れられる条件の一つが整ってしまうのである。同じ過ちを繰り返さないためには、当時のヨーロッパで何があったのかを正確に理解し、どうすれば悪夢が現実にならなかったのか皆が考える必要がある。『全体主義の起原』は、そのためのヒントを我々に与えてくれる。内容が難解なため一筋縄では読めないかもしれないが、是非とも一度手にとって頂きたい。

「書評のススメ！」

KANDAI OBI-1グランプリ

優秀賞



社会学部1年

山田 結以

選んだ本のタイトル



『断片的なものの  
社会学』

著者 岸政彦

出版社 朝日出版社

出版年 2015年

## 無意味は、今ここに存在している

私たちは時間をもっている。それはまさに人生のことだ。時間が尽きるまで、私たちは物語に出会い続ける。その断片が集まって世界はできている。ぜひこれを頭に浮かべながら、著者の語りの中を巡ってほしい。

本書は「紀伊国屋じんぶん大賞2016」を受賞している。社会学者として、人々の唯一無二の語りを読み取っている著者。彼が日々考えている、社会、人、物語、つながり。これらの在り方や、そこにただ存在している無意味な「何か」について表現されたのが本書だ。私は読後、自分が出会った物語を振り返り、似た「何か」を探したくなった。私たちが言葉にしたいとどこかで思っていたことが、ここでは語られている。

著者は多くの物語を近くも遠くもない、程よい距離から見ている。そして社会や私たちにに向けて、その断片をそっと置いている。こうしてページは進んでいく。

タイトルに、社会学という言葉がある。私が本書を選んだのは社会学を専攻しているからだ。しかし、ページをバラバラめくると無意味や孤独、断片といった教科書では見かけないような抽象的で独特な言葉がちりばめられており、より興味をもった。堅苦しい内容を想像する人もいるだろうが、それは違う。本書はどこにでも転がっている私たちの日常が舞台だ。そこから著者の考えがエッセイ風に語られているのだが、登場する人々から垣間見える人間らしさがとても愛らしい。かと思えば少しのホラーも感じる。温かさや奇妙さを同時に楽しむことができるのだ。まだまだ人生経験の少ない私には物語が時にフィクションにさえ感じたが、すべてがノンフィクションだ。私は夢中になって読んだ。

「手のひらに乗っていた小石はそれぞれかけがえない、世界にひとつしかないものだった。そしてそれが世界中の路上に無数に転がっている」。著者ならではの静かに印象に残る文章だ。本書のテーマは「つながり」。人と人のつながりは想像しやすい。では、人とモノ、動物、現象のつながりは何か。この問いの答えは、幼少期に奇妙な癖として小石を拾い、よく眺めていたという著者の語りに含まれている。また、小石の在り方は私たちにも当てはまる。私たちはかけがえない無意味な存在なのだ。そして、日常には「つながり」が溢れているからこそ、楽しくなる、助け合える。優しさや愛情が生まれる。これらを再確認できる場所が、ここにある。